

117 合計特殊出生率の推移

年次	全国	東京都	特別区部	品川区
平成 12 2000	1.36	1.04	1.00	0.91
13 2001	1.33	1.01	0.97	0.88
14 2002	1.32	1.02	0.98	0.86
15 2003	1.29	1.00	0.96	0.85
16 2004	0.88

- 注) 1. 「合計特殊出生率」とは、15歳から49歳(再生産年齢という)までの女子の年齢別出生率を合計したもので、再生産年齢を終えるまでに、1人あたり何人の子供を生むかを示す。
2. 東京都の「合計特殊出生率」は、東京都福祉保健局が翌年1月1日の住民基本台帳(東京都総務局統計部公表)の女子各歳別人口をもとに算出したものである。全国の合計特殊出生率は、厚生労働省が、国勢調査の日本人人口(国勢調査年)もしくは総務省統計局推計の各年10月1日現在の日本人人口(国勢調査年以外)をもとに算出したものである。
3. 平成16[2004]年・品川区の数値は、東京都と同様の方法でもとめた「速報値」である。

資料: 東京都福祉保健局総務部企画課『東京都衛生年報(平成16年版)』、区民生活事業部区民課統計係